

令和4年7月23日(書面開催)

1 「平塚工科高等学校 学校運営協議会運営計画」について

計画内容は異存ありません。コロナ感染第7波以降、無事計画遂行が出来ない場合は、計画変更を柔軟に進めて下さい。

今回は書面開催となったが今後もコロナの影響は無視できないと思います。ズーム等の活用も検討すべきではないでしょうか。

地域連携部会の主な活動内容が「防災、交流など地域活動を通じた連携協力を協議」となっていることから、8月と1月の防災訓練(これらはどちらかと言うと地域活動ではなく、学校独自の校内訓練)よりも、地域が参加する訓練やものづくり体験教室などとの関連を図ると良いのではないかと考えます。

防災訓練については地域の方々に大変評価を敷いております。市との運営も評判よく今年は夜間時(停電)対策もよろしくをお願いします。

2 令和3年度「学校評価報告書」について

ICTの活用を評価し、改善策も妥当です。生徒指導の部活動は一般的に各高校で問題を出していることから、加入率とともに生徒会との連携を方策に上げていることは期待できる。生徒指導でコロナによる影響が多い中の取組をさらに充実。地域連携も難しい環境の中の活動の継続を！学校管理運営の耐震、防災訓練の評価も妥当です

オンライン授業が推進されているようではあるが、まだまだ使いこなせていない部分が多いように感じる。登下校時に自転車の逆走、信号無視等多々見受けられる。まだ周知徹底が足りない様に思う。コロナ禍、耐震工事が続くなかご苦労様でした。

4年間の目標(令和2年度策定)に基づき、1年間の目標も毎年少しずつ変わっている様ですので(今後の参考にしたいと考えてますので)単年度の目標を評価しつつ、最終年(4年目)にはどのような形で4年間を評価していくのか教えていただけるとありがたいと思いました。

当該年度の総合評価は「4年間の目標」に基づきながら「1年間の目標」に沿って行われると良いのではないかと思います。例えば「1 教育課程 学習指導」の「1年間の目標」で継続的な授業改善や効果的な研修の推進についてふれていますが、このことについて「総合評価」に記述がほしいと考えます。全体として、新型コロナウイルスの影響を受けつつも、改善を目指して日々取り組まれてきたことが伝わってきます。

具体的な方策に防災講演会がありますが、災害対策課では、洪水対策、地震・津波対策として、各種ハザードマップの見方、使い方を正しく理解して、個人個人の備えにつなげていただくことを目的とした防災講話を行っています。学校等の体育館を会場に実施できますので、必要に応じてご相談ください。

3 学校教育計画・令和4年度学校評価(目標設定)について

学習指導でこのような時期ですが講師による知見の拡大は大変良い方法なので、講師の選定に期待します。生徒指導もコロナ禍の中柔軟に活動下さい。進路指導は行動制限がどうなるか不明の中、リスクを回避しつつ活動して下さい。地域との協働では平工の良い点等のPR情報発信を！職員の時間外勤務とストレスに配慮下さい。

令和3年度の評価が4年度の年間目標に反映されています。但し、各グループ報告で把握できている数値が目標設定に反映されず「アイマイ感」が残ります。

進路指導支援の②キャリア教育に関して、中学より送っているキャリアパスポートはどのような形で生かされているのか教えていただけるとありがたいと思いました。

前年度よりも取組の内容がシンプルに表現されていて、やるべきことが分かりやすいと思います。一方で、シンプルであるが故に、それを支える具体を担当の方が明確にイメージし続けることが求められます。

神奈川県より中学生のための専門学科ガイドが県内中学校に配布されました。資料については承知済みと思いますが中学校訪問時に再度確認される事は必要でしょうか。A3判(両面刷)県立高校産業教育系専門学校紹介

2に同じ

4 各グループの報告について

難しい時期ですが、コロナ禍に対応した活動を御願います。7月22日第1回キャリア部会は、コロナ感染拡大で申し訳ありませんが欠席させて下さい。

インターンシップを今年は実施できるということで生徒達にも社会とのつながり等勉強してもらいたい。2年ぶりの実施としても、参加人数が少ないように思われる。学校側からのすすめと同時にもっと企業もアピールできる提案を望む。インターンシップ等参加で資格などの取得向上につなげてほしい。

取組が具体的でわかり易い報告です。生徒支援Gの「特別指導件数」が気になります。今後の指導をよろしく願います。

特にありません。(キャリア教育について3で記載済み)

今後の評価のためにも、学校評価の内容に即した報告をいただきたいと思います。例えば、生徒指導・支援では、特別指導についての報告だけでなく、教育相談の実施状況についての報告だけでなく、教育相談の実施状況についての報告もあると学校関係者評価の判断材料になります。

文化系活動に於いて音楽部門(軽音楽等)時に活用時に、工科高校(平工)専用運動部への応援歌制作は難しいでしょうか。(生徒中心での作成)

今後、指導者(顧問)についての指導時間帯は高校での課題はいかがでしょうか。

コロナ過における活動制限ご指導は非常に大変と思います。日頃の生徒への観察も、喫煙等ぬきうち検査は現状では難しいでしょうか。

総務グループ

8/26 に実施するシェイクアウト訓練について

シェイクアウト訓練では、机の下にもぐり頭を守る行動をとっていますが、教室の廊下側や、窓際の席にいる生徒については、ガラスの飛散によるケガから身を守る行動についての視点も伝え、実施してください。

状況によっては、自席の机ではなくガラスから離れた場所で姿勢を低く、バック等で頭を守る避難行動も考えられますので、シェイクアウト訓練の実施前に、避難行動のポイントを伝え、各自(生徒)が、どこが安全なのか、どのような行動をとったら命を守れるのかを考えさせて(又はイメージさせる)から、訓練を実施した方が、防災意識を高められます。

又は、ホームルーム等で、「今、地震が起きたら、…」をテーマとした頭の訓練を行うことで、地震による直接的な被害の軽減が期待されます。以下、実施例。

- ①教室の危険個所はどこか話し合う(頭上やガラス付近、倒れるものなど)
- ②座っている場所による避難行動の違いを話し合う
- ③適切な避難行動の検討

※できれば、避難行動だけでなく対策の検討や実施。ガラスの飛散防止フィルムを貼る。落下防止策を行うなど。

- ④検討した内容を、訓練で試し、必要に応じて見直す。”

5 その他

前日、電気自動車に対する質問がありました。7月6日に都立六郷工科高校内で大田加工展があり訪問しました。デュアルシステム科主任の主幹教諭の方で自動車関係の「オートモビル工学科」についてお話をお聞きしました。目指せるで「電気自動車等の整備の業務に係る特別教育」の項が有りました。良い教師を見つけられないという御意見もお聞きしました。自動車科を持つ工科高校の共通の課題がないと思っています。電気自動車に関わるカリキュラムがないというのが大きな問題ですが！

運営協議会の課題ではないと思いますが、入学者の「定員割れ」が心配です。

第1回オブザーバーとして(黒部東西地区)自治会役員の出席依頼は県からみ無理でしょうか？

学校運営協議会

- ・松波 正利 同窓会副会長
- ・小島 昇 なでしこ小学校校長
- ・宇山 裕之 平塚市立浜岳中学校校長
- ・石井 正夫 株式会社IMC代表取締役
- ・辻原 幸生 平塚市市長室災害対策課 課長代理兼訓練担当長
- ・坂本 雅晴 特定非営利活動法人 ヨコハマみらい環境協議会理事
- ・小林 真理子 PTA会長